



# 森の楽校だより

VOL. 7

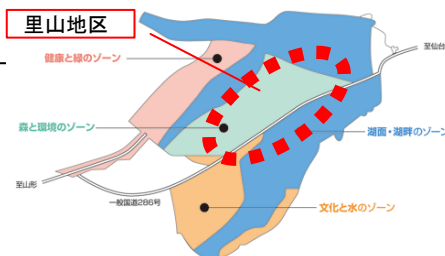


## 森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



## 7月7日（土）雨 自然共生園で勉強会

### 野生生物の対処法とロープワークについての勉強会を行いました。

今回は、前日から時より強い雨の降るあいにくの天気となりました。

そのため、里山での作業はあきらめ、みちのく自然共生園 知恵体験舎に場所を移し勉強会を行いました。

テーマは、里山で遭遇する可能性のある「野生生物の対処法」と、覚えておくと便利な「ロープワーク」についてでした。

里山に入ると様々な動植物と出会う可能性があり、中にはその対応を誤ると危険なものもあります。必要以上に恐れることはありませんが、どのような動植物が危険で、どのように危険を回避し、対処すべきか、知識と最低限の装備は身につけておく必要があります。



雨の共生園に現れた  
キジのオス



車座になったの勉強会の風景。  
会員の中には様々な経験を持った人も多く、自分の体験談などを交え、真剣かつ賑やかな勉強会となりました。

## 野生生物への対処

### ●ハチ類

出会う頻度や危険性からみて、一番気をつけなければならないのは、ハチ類です。スズメバチの仲間は木のウロや地面に巣を作ることがあり、気がつかずに近づくと襲われる（刺される）危険があります。

- ・白っぽい服装にする。（ハチは黒いものや香水など甘い香りに強く反応します）
- ・藪に入る際には、静かに周囲の様子に注意を払う。（スズメバチは敵が巣に近づくと「カチ カチ」と警戒音を鳴らします。この音が聴こえたら、音の方向からゆっくりと遠のくようにする）
- ・刺されてしまった場合は応急処置として吸引器（虫さされ等の応急処置器具として市販されている）で毒を吸い出す。
- ・刺された箇所より心臓に近い部分をタオルなどでしっかり締めつけ、速やかに病院へ行く。
- ・ハチの毒はスズメバチに限らず、体質や抗体の有無で強いショック症状を起こす可能性があります。里山などでは、単独行動は避けなければなりません。



クロスズメバチ



市販の吸引器

### ●ヘビ類

里山周辺ではヤマカガシやシマヘビなどが生息しています。ヤマカガシは奥歯に毒を持っているといわれていますが、それほど危険性はありません。



ヤマカガシ

- ・むやみに触れたりしない。
- ・毒性のあるヘビにかまれた場合は、応急処置をし、血清のある病院に行く。

### ●植物

植物でも、触れると被れたり、腫れて痛みを伴うものもあります。（ウルシ、ツタウルシ、イラクサなど）

- ・里山などに入る際は、長袖、長ズボンが基本です。

### ●ツキノワグマ

みちのく公園周辺の里山にはツキノワグマの生息が確認されています。

- ・里山などに入る際はまず、クマ鈴や笛などで、人間の存在をクマに知らせることで、（クマから近づいてくることはありません）

- ・ぱったり出会ってしまった場合は、慌てて逃げず、目を合わせたまま、ゆっくり後ずさりでその場から離れます。（死んだフリは効果がないようです）



ツキノワグマの足跡

## ロープワーク

木材の固定や運搬などに役立つロープの結び方（ロープワーク）について学びました。手の動きを身につけるまでは、なかなか大変です。



### ●もやい結び

主に船を「もやう」ののに用いられる。ロープの先端に固定された輪をつくる結び方の1つ。



### ●丸太結び（ねじ結び）

立木など芯となるものにロープを縛り付ける結び方。立木の間にロープを張る時などに用いられる。



### ●ナンキン結び

主にトラックの荷台などで、荷物を緩みなく固定するための結び方。